

平成26年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 原田工業株式会社

コード番号 6904 URL <http://www.harada.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 原田 章二

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員

(氏名) 佐々木 徹

TEL 03-3765-4321

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	19,842	13.1	724	10.7	795	12.3	444	30.8
26年3月期第2四半期	17,539	14.7	654	865.8	708	—	340	△43.7

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △294百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 1,467百万円 (76.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	20.45	—
26年3月期第2四半期	15.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	32,326	11,769	36.4	541.05
26年3月期	32,411	12,281	37.9	564.59

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 11,769百万円 26年3月期 12,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	6.9	1,050	△21.5	850	△39.8	550	△56.2	25.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	21,758,000 株	26年3月期	21,758,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	5,434 株	26年3月期	5,434 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	21,752,566 株	26年3月期2Q	21,753,954 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費や生産の増加等により緩やかながらも拡大しており、欧州では依然停滞しております。アジアにおいては、中国では個人消費が堅調に推移しているものの、その伸びの鈍化等を背景に回復のペースは緩やかになっており、アセアン地域では総じて足踏み状態となっております。

日本国内経済につきましては、個人消費に弱さが見られるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動から持ち直しつつあり、景気は緩やかな回復基調となりました。

先行きにつきましては、世界経済は、一部に弱さが見られるものの、総じて緩やかな回復が見込まれます。日本国内経済は、消費増税後の落ち込みからの持ち直しや世界経済の回復等により、景気の緩やかな回復が期待されま

す。当社グループの属する自動車業界におきましては、自動車の生産台数がアセアンで減産となったものの、北米、欧州、中国、日本では増加となり、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ、増加となりました。

このような状況のもと、長期ビジョンである「HARADA NEXSTAGE 19」達成のための二つの柱である「競争の優位性の強化」と「最適な企業基盤の確立」を目指し、各領域における施策を推進すると共に、日本アンテナ株式会社より譲り受けた事業と開発・生産・販売等の各領域での収益体質の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、世界の自動車市場が着実に拡大をしていることを背景とした拡販活動や為替の影響等により198億42百万円（前年同期比13.1%増）となりました。利益面につきましては、売上の増加による売上総利益の増加及び販管費率の改善により営業利益は7億24百万円（同10.7%増）、経常利益は為替差益等を計上したこともあり7億95百万円（同12.3%増）、四半期純利益は4億44百万円（同30.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①日本

輸出は減少したものの、自動車生産台数の微増により、外部売上高は60億72百万円（同3.2%増）、セグメント間の内部売上高は19億87百万円（同6.4%増）、営業利益は原価率及び販管費率の上昇により3億27百万円（同49.2%減）となりました。

## ②アジア

中国市場での拡販活動及び為替の影響等により、外部売上高は52億34百万円（同27.4%増）、セグメント間の内部売上高は69億17百万円（同10.7%増）、営業利益は原価率の改善等により1億65百万円（同660.8%増）となりました。

## ③北中米

米国及びメキシコの市場回復傾向及び為替の影響等により、外部売上高は65億79百万円（同9.5%増）、セグメント間の内部売上高は52百万円（同7.4%減）、営業利益は2億10百万円（同26.3%増）となりました。

## ④欧州

欧州市場での拡販活動及び為替の影響等により、外部売上高は19億56百万円（同26.9%増）、セグメント間の内部売上高は21百万円（同155.4%増）、営業損失は原価率の上昇等により59百万円（前年同期は営業損失15百万円）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当社グループは財務体質の改善目標として営業利益率など収益性の改善ももちろんのことですが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、たな卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

## (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、255億64百万円（前連結会計年度末252億87百万円）となり、2億77百万円増加いたしました。

主に、「商品及び製品」が3億18百万円減少し、「受取手形及び売掛金」が5億93百万円、「現金及び預金」が3億67百万円増加いたしました。

## (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、67億62百万円（前連結会計年度末71億24百万円）となり、3億62百万円減少いたしました。

主に、「投資その他の資産」が3億円減少いたしました。

## (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、160億9百万円（前連結会計年度末177億76百万円）となり、17億66百万円減少いたしました。

主に、「短期借入金」が16億97百万円増加し、「1年内返済予定の長期借入金」が18億35百万円、「その他」に含まれる「未払金」が6億23百万円、「未払法人税等」が5億円減少いたしました。

## (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、45億48百万円（前連結会計年度末23億54百万円）となり、21億93百万円増加いたしました。

主に、「長期借入金」が22億45百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、117億69百万円（前連結会計年度末122億81百万円）となり、5億12百万円減少いたしました。

主に、「為替換算調整勘定」が7億55百万円減少いたしました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して7億15百万円増加し、67億34百万円（前連結会計年度末比11.9%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、「税金等調整前四半期純利益」7億87百万円等の増加要因がありましたが、「売上債権の増加額」7億87百万円、「法人税等の支払額」5億56百万円、「仕入債務の減少額」3億3百万円等の減少要因により、10億52百万円の支出（前年同期は11億1百万円の収入）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、「有形固定資産の取得による支出」4億57百万円、「定期預金の払戻による収入」3億77百万円、「保険積立金の解約による収入」2億5百万円等により、93百万円の収入（前年同期は3億56百万円の支出）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、「短期借入れによる収入」114億15百万円、「短期借入金の返済による支出」97億70百万円等により、18億29百万円の収入（前年同期は1億2百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日公表の「平成27年3月期第2四半期（累計）連結業績予想値と実績値との差異、通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ」において平成27年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異を開示しております。

平成27年3月期通期連結業績予想値につきましては、世界の自動車市場が拡大していることを背景とした拡販活動や為替の影響等により、連結売上高は390億円の見込みであります。また、利益面につきましては、下期において当社の諸制度の変更等に伴う人件費増による原価率、販管费率の一時的な上昇が見込まれることから、営業利益は10億50百万円、経常利益は8億50百万円、当期純利益は5億50百万円の見込みであり、平成26年5月19日に公表した予想値との変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,407,711	6,774,801
受取手形及び売掛金	7,309,390	7,902,677
商品及び製品	5,207,444	4,888,884
仕掛品	510,673	514,049
原材料及び貯蔵品	3,702,168	3,705,925
その他	2,165,437	1,795,693
貸倒引当金	△15,209	△17,319
流動資産合計	25,287,616	25,564,712
固定資産		
有形固定資産	4,574,825	4,563,334
無形固定資産	393,733	344,068
投資その他の資産		
その他	2,158,062	1,857,135
貸倒引当金	△2,405	△2,405
投資その他の資産合計	2,155,657	1,854,729
固定資産合計	7,124,216	6,762,132
資産合計	32,411,832	32,326,845
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,777,234	3,449,912
短期借入金	8,460,866	10,158,334
1年内返済予定の長期借入金	2,560,000	725,000
賞与引当金	313,910	340,236
役員賞与引当金	49,800	16,750
その他	2,614,363	1,319,356
流動負債合計	17,776,174	16,009,591
固定負債		
長期借入金	1,680,000	3,925,000
退職給付に係る負債	266,274	203,693
その他	408,149	419,408
固定負債合計	2,354,424	4,548,101
負債合計	20,130,598	20,557,692
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	8,593,001	8,820,328
自己株式	△1,818	△1,818
株主資本合計	12,470,345	12,697,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,862	32,240
為替換算調整勘定	△145,911	△901,626
退職給付に係る調整累計額	△61,063	△59,134
その他の包括利益累計額合計	△189,111	△928,520
純資産合計	12,281,233	11,769,152
負債純資産合計	32,411,832	32,326,845

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	17,539,619	19,842,604
売上原価	13,322,821	15,159,166
売上総利益	4,216,797	4,683,438
販売費及び一般管理費	3,561,984	3,958,763
営業利益	654,812	724,674
営業外収益		
為替差益	79,832	68,208
保険解約返戻金	—	39,391
その他	50,792	53,597
営業外収益合計	130,625	161,197
営業外費用		
支払利息	63,587	75,753
その他	13,479	14,859
営業外費用合計	77,066	90,613
経常利益	708,370	795,259
特別利益		
固定資産売却益	4,403	4,231
その他	—	44
特別利益合計	4,403	4,275
特別損失		
減損損失	5,123	7,938
固定資産売却損	309	2,980
その他	5,095	675
特別損失合計	10,528	11,594
税金等調整前四半期純利益	702,245	787,940
法人税、住民税及び事業税	385,880	68,427
法人税等調整額	△23,747	274,660
法人税等合計	362,132	343,087
少数株主損益調整前四半期純利益	340,112	444,853
少数株主利益	—	—
四半期純利益	340,112	444,853



（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	340,112	444,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,493	14,378
為替換算調整勘定	1,121,654	△755,715
退職給付に係る調整額	—	1,928
その他の包括利益合計	1,127,148	△739,408
四半期包括利益	1,467,261	△294,555
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,467,261	△294,555
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	702,245	787,940
減価償却費	368,494	410,785
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△80,213	—
支払利息	63,587	75,753
為替差損益(△は益)	44,073	△111,562
売上債権の増減額(△は増加)	△504,099	△787,646
たな卸資産の増減額(△は増加)	952,926	17,252
仕入債務の増減額(△は減少)	182,354	△303,844
その他	△218,354	△529,609
小計	1,511,014	△440,931
法人税等の支払額	△348,911	△556,087
利息の支払額	△70,864	△65,132
その他の収入	9,835	9,359
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,101,073	△1,052,791
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△336,695	△457,403
定期預金の払戻による収入	37,624	377,574
保険積立金の解約による収入	—	205,720
その他	△56,992	△32,003
投資活動によるキャッシュ・フロー	△356,064	93,887
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	7,045,095	11,415,845
短期借入金の返済による支出	△6,693,825	△9,770,250
長期借入れによる収入	—	2,700,000
長期借入金の返済による支出	△280,000	△2,290,000
配当金の支払額	△162,768	△216,697
その他	△10,634	△9,768
財務活動によるキャッシュ・フロー	△102,133	1,829,128
現金及び現金同等物に係る換算差額	287,816	△154,871
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	930,692	715,353
現金及び現金同等物の期首残高	5,462,365	6,019,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,393,057	6,734,902

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	5,883,169	4,108,972	6,006,032	1,541,444	17,539,619	—	17,539,619
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,868,519	6,249,273	56,211	8,397	8,182,402	△8,182,402	—
計	7,751,689	10,358,245	6,062,243	1,549,842	25,722,021	△8,182,402	17,539,619
セグメント利益又は損失(△)	645,219	21,749	166,702	△15,716	817,955	△163,143	654,812

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△163,143千円は、セグメント間取引消去であります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「アジア」のセグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」3,922千円、「アジア」1,201千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	6,072,306	5,234,164	6,579,293	1,956,840	19,842,604	—	19,842,604
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,987,794	6,917,232	52,065	21,448	8,978,541	△8,978,541	—
計	8,060,101	12,151,396	6,631,359	1,978,288	28,821,146	△8,978,541	19,842,604
セグメント利益又は損失(△)	327,957	165,470	210,464	△59,892	644,000	80,674	724,674

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額80,674千円は、セグメント間取引消去であります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「アジア」のセグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」5,763千円、「アジア」2,175千円であります。